

第 3 章

計画の基本理念

第1節 計画の基本理念

ともに生きる ともに創る 地域共生・信州

世代の違い、障がいの有無、文化の違いなど

多様な個性を持った住民がごちゃまぜで暮らし、

様々な人や組織の協力による、ライフステージを通じてその人らしい

居場所と出番があるあったか信州の創造

第2節 私たちが目指す地域共生社会とは

長野県が目指す地域共生社会について共有するため、次のとおり3つのイメージを掲げます。

イメージ1

地域の中で、誰もが居場所と役割を持ち、その人らしく生きることのできる「ごちゃまぜ」の社会

信州の自然と培われてきた風土の中で、子どもも高齢者も、障がいや個性を持つ人も、多様性を尊重し合いながらごちゃまぜで暮らす、誰にでもあたたかな地域社会の姿です。

イメージ2

「支え手」「受け手」の役割分担を超えて、皆が地域づくりの主体として支え合う「新しいお互いさま」社会

人口減少社会において、一人ひとりを地域の宝として、チャレンジする人を何度でも応援し、それぞれの個性を活かした活躍の場を創造していく、地域社会の姿です。

イメージ3

住民や団体、法人など多様な担い手が地域福祉に参加し、地域性にあわせて、自助、互助、共助、公助により包括的に支える社会

地域課題を「我が事」として受け止めた住民の福祉活動と、地域で解決できない課題を「丸ごと」受け止める相談窓口、そして、課題解決に専門的に対応していく相談支援ネットワークが重層的に支える社会の姿です。

